



Title	年表（1945-2025）井戸武實の歩みと社会の動き / 井戸武實の主な学会発表と著書等 / 資料 / 思い出のアルバム
Author(s)	逢坂, 隆子; 西成労働福祉センター; 井戸, 武實 他
Citation	井戸武實の歩みと追悼集. 2025, p. 59-81
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/100741">https://hdl.handle.net/11094/100741</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

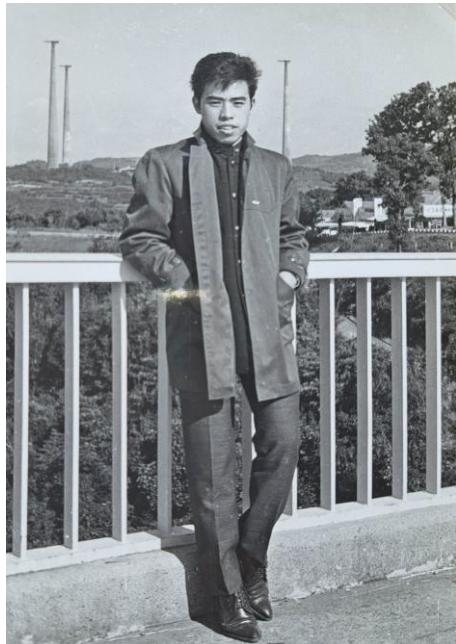
<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## VII. 思い出のアルバム



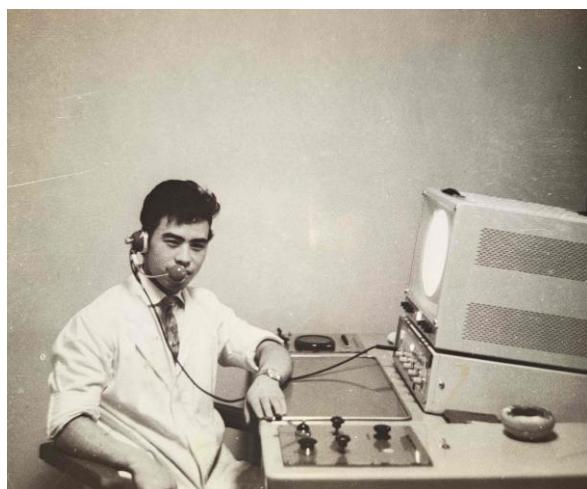
故郷で母と弟2人で（1961年）



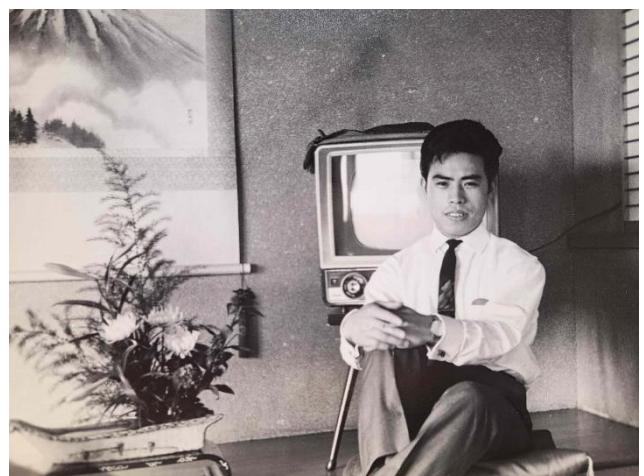
高校修学旅行（1963年）



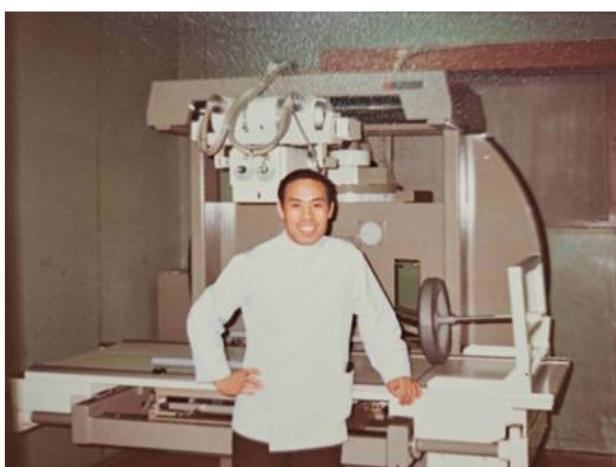
玉置病院で（1961年）



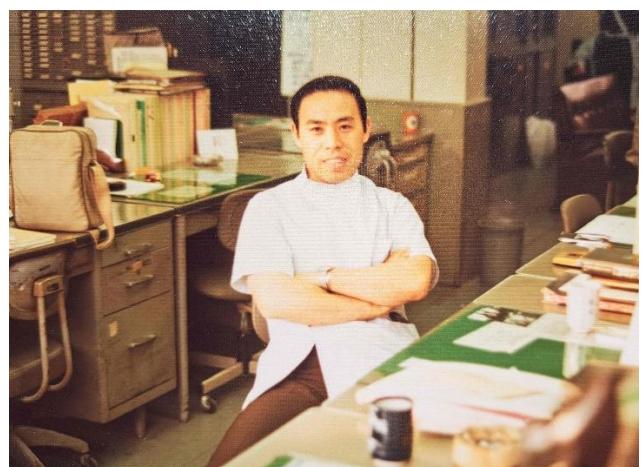
湯川胃腸病院で（1964年頃）



1964年頃



大阪府泉大津保健所で（1981年頃）



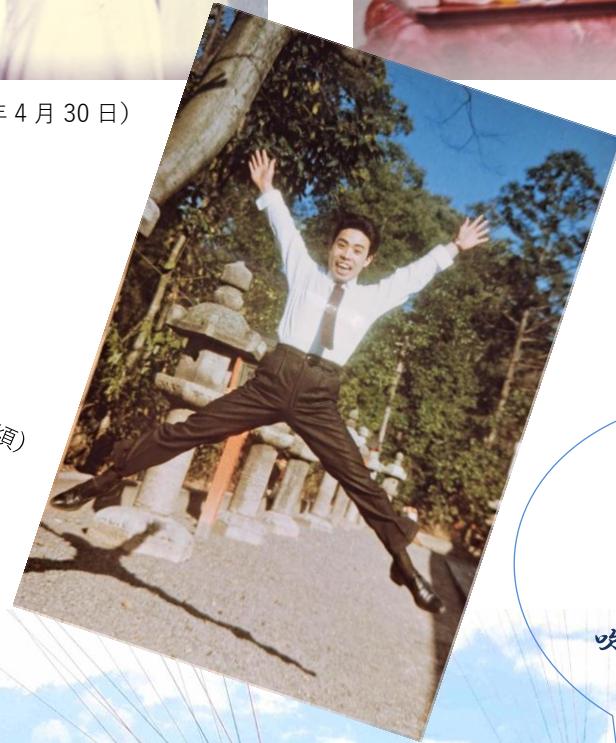


結婚式（1967年4月30日）



妻と（1967年頃）

京都で（1966年頃）



千の風に～  
千の風になつて  
あの大きな空を～  
吹きわたつています



スカイダイビング（2014年）



←大阪公衆衛生衛生協会が1982年に受賞した  
第34回保健文化賞の盾(井戸武實が保管)

「受賞祝賀会会場正面で金色に輝き、深い理解と励ましをもって見守ってくれた盾"衛生の女神 Hygieia"に、私は祈りにも似た気持ちで"明日の大公衆衛生を守り給え"と心から願った次第である。」事業部幹事堀井富士子(大阪府門真保健所長)

(出典:土肥四郎. 受賞記念式典パーティに参加して. 大阪公衆衛生. 1983: 47. 23-24. より抜粋)



読売新聞社より大阪府医療功労賞授与 (2012年) 右は記念品の時計と温度計 背景は妻静香氏の手芸作品



↑「偶然、本ページにたどり着きました。感激です。2023年4月2日(日)大東市民会館(キラリエホール)で開催第47回全国吟詠コンクール大阪府東連合大会 一般三部優勝記事です。そして詩吟を通して多くの吟士の方々と出会えたこと、大会運営の関係者の皆さんに感謝申し上げます。」(「Shioyanのぎんじや控え室」というブログにあった井戸武實の投稿文と写真、左は賞状)

「私が子どもの頃から、父は詩吟ではトロフィーを次々に持て帰るので、家族は置き場所がないと言い、今となると何とも可哀想な反応をしていました。」 山森晶子(思い出のアルバムの写真提供)